

第37回

埼玉・市民ジャーナリズム講座

2017年・第4期テーマ

メディアの今

～地域ジャーナリズムの将来～

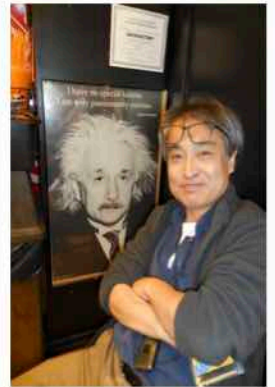
「韓国で見た大統領選と『慰安婦』問題」

日時:2017年7月8日(土)14時～

ゲスト:植村隆さん

元朝日新聞記者、韓国・カトリック大学校客員教授

高知県生まれ。1982年朝日新聞入社。大阪社会部、テヘラン支局、ソウル支局、東京本社外報部次長、中国総局(北京)などを経て、2009年4月から北海道支社報道センターで遊軍キャップ。函館支局長を経て、14年3月、早期退職。12年4月～16年3月末北星学園大学(札幌市)で非常勤講師。外報部次長時代に取材班デスクをつとめた連載「テロリストの軌跡 アタを追う」が02年度新聞協会賞受賞。取材メンバーだった連載「新聞と戦争」が08年度石橋湛山記念早稲田ジャーナリズム大賞受賞。著書に『ソウルの風の中で』(社会思想社)、『真実私は「捏造記者」ではない』(岩波書店、韓国語翻訳版『私は捏造記者ではない』=吉倫亨訳・プルンヨクサ)。共著に『マンガ韓国現代史 コバウおじさんの50年』(角川文庫)、『新聞と戦争』(朝日新聞出版)など。



会場:「カフェギャラリー南風(みなかぜ)蔵の家」

さいたま市中央区本町西2-2-24

048-764-8850

埼京線与野本町駅西口徒歩7分

無料駐車場近隣にあり

会費:1,000円

コーヒーorジュース付き

申&問:090-2173-2591



※終了後、同会場にて沖縄料理の懇親会(会費3,000円程度)を行います。ご都合つく方はぜひ、ご参加ください。

埼玉市民ジャーナリズム講座

埼玉県には古くから独自の歴史と文化があります。この埼玉がより一層活性化、発展するために、地域に根ざした多様な「市民に開かれたメディア」の存在と活躍が不可欠です。今一度、多くのみなさんと、ジャーナリズム、メディアリテラシー、地域文化の育成などの課題を、この『埼玉・市民ジャーナリズム講座』の場を通じて共に考え、情報発信していきたいと考えています。この企画は地元・地方紙「埼玉新聞」の紙面協力のもと2014年3月から取り組んでいます。どなたでも参加できますので、お待ちしております。

■主催団体:埼玉市民ジャーナリズム講座実行委員会

埼玉新聞サポーターズクラブ 日本機関紙協会埼玉県本部 NPO法人埼玉情報センター さきたま新聞

■連絡先 090-2173-2591(たけうち) office@sai-tama.jp